

**公益社団法人インテリア産業協会**  
**令和元年度事業報告**  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

## I 基本方針関連（概要）

年度当初に掲げた基本方針関連の事業の概要については次のとおりです。

### 1) IC・KS有資格者等の能力向上・育成関係

一般生活者並びに有資格者の能力向上・育成のために、インテリア等に関する基礎知識の習得、有資格者の経験に応じた講座等のセミナーを、本部及び全国9支部で122件実施しました。

### 2) インテリア普及啓発関係

一般生活者を対象とした展示会や、若い世代に向けたインテリア普及活動の絵画コンテストを全国で17件実施しました。

### 3) 広報活動

システム統合プロジェクトを着実に進行しました。なお、適正な公益法人運営に関する当期中の理事会等の新たな判断結果を遵守すべく、適切なサービス提供範囲を再判断したうえで開発をすすめ、来期の本稼働に向けた準備を進めました。

一般生活者向けに資格の魅力を訴求するコンテンツに関しては、協会ウェブサイト単独よりも効果的な外部媒体を活用し、専門ライターも含めたコンテンツ制作体制を新たに敷くことで、記事の刷新と充実を図りました。

## II 個別事業

### 1. 教育・情報提供事業

#### 1-1 IC・KSハンドブックの書籍頒布

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする人、インテリアについて学ぼうとする人などに対しての書籍頒布については、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」8刷版の印刷を行い、頒布に供しました。

#### 1-2 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

通信教育事業については、IC・KS資格試験の受験を目指す人やインテリアについて学ぼうとする人に対して、次のとおり講座を実施しました。

- ① IC受験講座（総合／一次／実技）：のべ313人（前年度286人）が受講
  - ② KS受験講座（総合／学科／実技）：のべ105人（前年度118人）が受講
- また、KS講座の一部教材の改訂を行いました。

#### 1-3 能力向上等のためのIC・KS有資格者へのインターネットによる情報提供

有資格者を対象にして協会ウェブサイト、MYページ及びメールマガジンにより、インテリアやキッチンに関する諸情報のほかスキルアップセミナーやビジネス関連情報などを引き続き提供しました。なお、MYページサービス終了に伴い、令和元年度をもって本取組は終了しました。

## 2. 資格認定試験事業

### 2-1 IC資格認定試験

第37回IC資格認定試験は、台風19号の影響を受けて一部地域で当初計画どおりには実施できませんでした。このため未実施会場での受験申込者に向けて、試験会場の再手配、試験問題の再作成などの準備を迅速に行い、一次試験、二次試験ともに再試験の機会を設けました。また、2月の二次試験（再試験）においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにアルコール消毒薬の設置などの対応を実施しました。実施スケジュールは次のとおりです。

- ・一次試験 令和元年10月13日（日）  
試験会場：北海道、愛知県、石川県、兵庫県、広島県、香川県、福岡県、沖縄県
- ・一次試験（再試験） 令和元年11月17日（日）  
試験会場：岩手県、宮城県、群馬県、東京都
- ・二次試験 令和元年12月8日（日）  
試験会場：北海道、岩手県、宮城県、群馬県、東京都、愛知県、石川県、  
兵庫県、広島県、香川県、福岡県、沖縄県
- ・二次試験（再試験） 令和2年2月23日（日）  
試験会場：岩手県、宮城県、群馬県、東京都

※再試験欠席者に対して受験料の返金を行った。

合格者数等の結果は次のとおりです。

#### ■令和元年度（第37回）一次試験・二次試験別申込者・受験者・合格者の概要

【一次試験】		【二次試験】	
受験申込者数	9,606	二次受験対象者数 <sup>(注)</sup>	3,993(内:一次免除者 1,630)
受験者数	6,992	受験者数	3,292(内:一次免除者 1,239)
一次合格者数	2,428	二次合格者数	1,896
一次合格率	34.7%	二次合格率	57.6%

注：二次受験対象者数（3,933）は、基本タイプ一次合格者数（2,303）＋二次試験タイプ申込者数（1,630）

#### ■合格者の推移

実施回[年度]	資格取得対象 受験者数 <sup>(注)</sup>	合格者数 (二次合格者数)	合格率
令和元年度[第37回]	7,561	1,896	25.1%
平成30年度[第36回]	8,966	2,135	23.8%
平成29年度[第35回]	8,569	1,931	22.5%
平成28年度[第34回]	8,589	2,055	23.9%
平成27年度[第33回]	9,154	2,063	22.5%

注：一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

### 2-2 KS資格認定試験

第32回KS資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・試験日 令和元年12月8日（日）（IC二次試験と同日）
- ・試験会場 全国12地域（IC二次試験と同地域）

合格者数等の結果は次のとおりです。

## ■合格者の推移

年度	申込者数			資格取得対象 受験者数 <sup>(注)</sup>	合格者数	合格率
	総合	学科/実技	総数			
令和元年度[第32回]	571	291	862	703	222	31.6%
平成30年度[第31回]	632	346	978	786	288	36.6%
平成29年度[第30回]	939	362	1,301	1,050	397	37.8%
平成28年度[第29回]	1,096	323	1,419	1,159	417	36.0%
平成27年度[第28回]	931	366	1,297	1,050	441	42.0%

注：学科及び実技の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

## 3. 資格登録事業

### 3-1 資格登録

令和元年度 I C 資格認定試験合格者 1,896 人および K S 資格認定試験合格者 222 名を対象とする資格登録業務を実施しました。年度末時点で I C 資格登録申請 1,444 名、K S 資格登録申請 221 名を受付け、資格証（初回登録年月日 2020 年 4 月 1 日付）を交付しました。

なお、I C 再試験合格者等、資格登録申請手続き期間が次年度にまたがる者については、令和 2 年度において資格登録業務を実施します。

### 3-2 登録更新

定常的な I C・K S 資格者の登録更新業務を、資格登録システムを利用して確実に実施しました。連絡先住所不明者に対する登録メールアドレスによる住所照会、電話照会を引き続き行い、更新案内の徹底を図りました。

年度末における登録資格者（有効資格者）数は次のとおりです。

- ・ I C 資格登録者数： 58,180 人
- ・ K S 資格登録者数： 8,616 人

### 3-3 I C・K S 読本

資格者の活動に有益な知識・情報を盛り込んだ「I C・K S 読本」を最新化するとともに、各章のポイントを記載するなどの改善を図りました。平成 30 年度版で好評であった「インテリアトレンド情報」を更新し、新規登録者及び更新対象者全員に提供しました。

## 4. 講座等開催事業

一般生活者並びに I C 及び K S の有資格者を対象に、インテリア等に関する基礎知識の習得、I C や K S の職業人としての能力向上を目指した研修事業として、全国各地で講座、講演会等のセミナーを以下の事業を始めとして 122 件開催しました。開催については、ウェブサイトを利用し広く案内し、参加の機会を拓けるよう努めました。

①北海道支部（15 件）

◇「北海道暮らしから育てるインテリアキャンペーン in 札幌 2019」など

②東北支部（7 件）

◇「環境と建築」など

③関東甲信越支部 (31 件)

◇「家具レイアウトのトレンド」など

④中部支部 (16 件)

◇「図書館セミナー富山」など

⑤関西支部 (8 件)

◇「生活者セミナー」など

⑥中国支部 (9 件)

◇「住文化フォーラム」など

⑦四国支部 (8 件)

◇「図書館インテリアセミナー」など

⑧九州支部 (25 件)

◇「令和元年度長崎工業高等学校 出前授業」など

⑨本部 (3 件)

◇「エコプロ2019」など

## 5. 調査研究支援事業

IC・KS等が行う調査・研究への支援として、昨年同様、キッチン、インテリアに関してテーマ公募を行い、次のとおり6件の調査・研究に対して活動資金を助成しました。

① 応募テーマ数 7件 (キッチン関係：2件 インテリア関係：5件)

② 採択テーマ数 6件 (キッチン関係：2件 インテリア関係：4件)

③ 採択テーマ名

### 【キッチン関係】

◇電子レンジが活用しやすいように組み込んだキッチンのデザインのあり方 (学生アパート用のキッチン研究会)

◇保育所における園児によるクッキングに関する調査・研究(保育所クッキング研究会)

### 【インテリア関係】

◇「嗜好に合った寝室のインテリアコーディネート」は、睡眠の質を向上させられるか? (プラスアート推進会)

◇収納習慣および整理法から導き出すクローゼットプロトタイプの考察・提案 (須原浩子)

◇エシカルインテリアの普及啓発におけるインテリア関連企業の取り組みと意識に関する調査研究 (エシカルなインテリア研究会)

◇インテリアから見た高齢者が心身ともに快適で自立できる家づくりの提案 (大分インテリアコーディネーター協会高齢者住宅研究プロジェクトチーム)

## 6. コンテスト事業

IC・KS資格制度の普及と資格者の能力向上を目的に、誰もが自由に応募可能な以下のコンテストを継続実施しました。優秀作品については、協会ウェブサイトでの掲載や展示会などインテリア普及イベントの場で紹介の場を設けると同時に、昨年度に引き続き「作品集」および入賞作品を掲載した「年度型カレンダー」を制作して広く頒布し、事業の普及に努めました。

## 印刷部数

- ◇作品集： キッチン空間アイデアコンテスト (1,500部)  
住まいのインテリアコーディネーションコンテスト(1,500部)
- ◇カレンダー： 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト一般部門及びキッチン空間アイデアコンテストの統合版 (500部)  
住まいのインテリアコーディネーションコンテスト高校生部門(300部)

## 6-1 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト

本年度も経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおり実施しました。昨年に引き続き高校生部門については就職や進学に活かせるよう一般部門に先駆けて実施しました。

### 【一般部門】

- ①応募受付期間 令和元年9月10日～10月15日
- ②募集内容 (応募作品数)
- ◇事例分野  
新築部門 (17) リフォーム部門 (20) スタイル部門 (18)
- ◇課題分野  
A部門 「世界をもてなすインテリア空間」 (140)  
B部門 「高齢者と家族に優しいリビング空間」 (33)
- ③応募総数 231作品 (分野・部門不明3作品含む)
- ④審査結果 経済産業大臣賞1作品、製造産業局長賞1作品、協会会長賞2作品、部門賞5作品、優秀賞5作品、審査員特別賞3作品、合計17作品
- ⑤入賞作品一覧

#### ■事例分野

賞名	部門名	タイトル	名前	勤務先・学校	都道府県
経済産業大臣賞	スタイル	New Luxury	岡井 由起	株式会社コスモスモア	東京都
会長賞	リフォーム	墨色空間 こだわる大人住まい	高浦祥子	ワンデザインズ株式会社	大阪府
部門賞	新築	PROTECT	石本 輝旭	株式会社CURIOUS design workers一級建築士事務所	愛知県
部門賞	スタイル	ちょっとだけHALLOWEEN	虎岩沙緒理	富士湘南トヨタホーム株式会社	静岡県
部門賞	リフォーム	紅を纏う町屋xシェアハウス	常橋明浩	空環境計画	石川県
優秀賞	リフォーム	年を重ねはじめる清々しい暮らし	大木道子	株式会社オットー・デザイン	東京都
優秀賞	新築	壁面を楽しむ心豊かなインテリア	久保田 絵美	EMU_interior design	群馬県
優秀賞	スタイル	URBAN ECLECTIC	大西哉子	株式会社ジオインテリアワークス	兵庫県
審査員特別賞	リフォーム	CO-LIVING	石本 輝旭	株式会社CURIOUS design workers一級建築士事務所	愛知県

#### ■課題分野

賞名	部門名	タイトル	名前	勤務先・学校	都道府県
製造産業局長賞	A	FOG.	古田 雅敏	Branco Inc.	神奈川県
部門賞	A	からんころん、ゆらゆら	武田紗里	スペースデザインカレッジ	大阪府
優秀賞	A	君がため	島 遥	スペースデザインカレッジ京都校	京都府
審査員特別賞	A	ORIGAMI LOUNGE	杉浦岳	日本航空株式会社	東京都
会長賞	B	抜け道Living	齊藤佑飛	スペースデザインカレッジ	東京都
部門賞	B	Core-Living	村上裕香	スペースデザインカレッジ	埼玉県
優秀賞	B	やさしさのある“縁側”	小金澤将達	工学院大学	東京都
審査員特別賞	B	侘び寂び	大塚皓英	東京デザインプレックス研究所	東京都

## 【高校生部門】

- ①応募受付期間 令和元年7月5日～7月25日  
 ②募集テーマ ここから始まる！リビング空間  
 ③応募総数 160作品（23校）  
 ④審査結果 協会会長賞1作品、高校生部門賞1作品、優秀賞2作品、  
 奨励賞7作品 合計11作品  
 ⑤入賞作品一覧

賞名	作品名	名前	学校名/学科名	学年
会長賞	雨粒の調べ	木村 乃愛	千葉県立市川工業高等学校/インテリア科校	3
高校生部門賞	Remains	古見 廣太郎	東京都立工芸高等学校/インテリア科(定時制)	3
優秀賞	空の上のおくりもの	伊藤 良奈	千葉県立市川工業高等学校/インテリア科	3
	Branch in to the living	中屋 絵梨奈	東京都立工芸高等学校/インテリア科(定時制)	3
奨励賞	本を読み始めたら眠れない家	原 和菜	岡山県立岡山南高等学校/服飾デザイン科	3
	崖の上の理想の部屋	石橋 花音	福岡県立浮羽工業高等学校/環境デザイン科インテリアデザインコース	2
	吊られてから始まる健康リビング	荒江 優弥	大阪市立都島工業高等学校/建築科	3
	Dive	高橋 学	東京都立工芸高等学校/インテリア科(定時制)	3
	芝生の家	大塚 弓奈	同朋高等学校/普通科	3
	繋がりを生む	森下 彩里	静岡県立浜松工業高等学校/建築科	3
	みそ汁の力	山口 千尋	熊本県立熊本工業高等学校/インテリア科	3

## 6-2 キッチン空間アイデアコンテスト

募集要項を関係各種機関へ配布し、KS・ICメルマガ、協会ウェブサイトでの募集、コンテスト専門ウェブサイト（登竜門）等を広報に利用し、次のとおり実施しました。

- ①応募受付期間 令和元年8月1日～9月30日  
 ②応募テーマ「こんな人にこんなキッチンを伝えたい」  
 A. 団らん・優しいキッチン空間  
 B. 暮らしが変わるキッチンリフォーム空間  
 ③応募総数 166作品（A部門148 B部門18）  
 ④審査結果 協会会長賞1作品、部門賞2作品、優秀賞6作品、奨励賞14作品  
 合計23作品  
 ⑤上位入賞作品一覧

賞名	応募テーマ	タイトル	受賞者（代表者）
会長賞	B	みんなのI型キッチン	常橋 明浩
部門賞	A	旅人×地域×キッチン	山田 寛
	B	“教室+キッチン”で紡ぐ暮らし	並木 義和
優秀賞	A	復興住宅の「漁師飯キッチン」	園田 大輝
	A	よりせいキッチン	内藤 美紀
	A	まわる食材キッチン	村上 友規
	A	スパマキッチン	平木 春美
	B	透過につながるミニマルキッチン	須藤 大
	B	テラスの多目的スペース	今井 利博

## 7. インテリア普及啓発及び展示会の開催事業

### 7-1 絵画コンテスト

将来の日本を担う子供たちやその家族に、生活の中にインテリアを取り入れる楽しさを知ってもらい、ICの職能を理解してもらうことによってインテリアに関する普及を図るため、小学生を応募対象とした絵画コンテストを支部において4件開催し、次の応募作品の展示会を実施しました。

①第17回「こんな部屋いいな絵画コンテスト」(東北支部)

期間 令和2年2月19日～24日

会場 アイリス青葉ビル9階ホール

形態 宮城インテリアコーディネーター倶楽部との共催

②第6回「こんな部屋いいな絵画コンテスト」(九州支部)

期間 令和2年1月11日～13日

会場 鹿児島県歴史資料センター

形態 鹿児島県インテリアコーディネーター協会との共催

③第5回「こんな部屋いいな絵画コンテスト」(九州支部)

期間 令和2年2月15日～16日

会場 福岡市役所

携帯 福岡インテリアコーディネーター協会との共催

④第4回「あったらいいな、こんな家 こども絵画コンクール」(沖縄支部)

期間 令和元年10月18日～20日

会場 沖縄コンベンションセンター

形態 (株)タイムス住宅新聞社との共催

### 7-2 展示会等の催し

消費者を対象に、ICやKSの作品展示、インテリア新製品等の展示等の催しを本部・支部において13件開催・出展しました。主な催しは次のとおり。

◇「静岡 暮らし博」(関東甲信越支部)

期間 令和元年10月12日～13日

会場 ツインメッセ静岡

形態 静岡新聞・SBS主催の展示会に出展参加

内容 協会資格者デザインによるブースの出展等

◇「あいち住まいるフェア2019」(中部支部)

期間 令和元年11月16日～17日

会場 オアシス21

形態 愛知ゆとりある住まい推進協議会、中部経済新聞社主催のイベントに出展参加

内容 一般生活者向けのブース展示 他

◇「リビング&デザイン2019」(関西支部)

期間 令和元年10月30日～11月1日

会場 インテックス大阪

形態 LIVING & DESIGN 実行委員会主催のイベントに出展参加

内容 インテリア関連新商品の展示 他

◇「JAPANTEX2019」(本部)

期間 令和元年11月13日～15日

会場 東京ビッグサイト

形態 (一社)日本インテリアファブリックス協会(NIF)、(一社)日本能率協会主催の展示会にNIFと共催で出展参加

内容 協会資格者デザインによるブースの出展

### 7-3 学校への教材頒布

#### (1) 中学生向けインテリア普及教材の作成頒布

中学生向けの「技術家庭科・副読本」については、例年と同様に配布を行った結果、中学校1,060校、約17万部の実績となり、インテリアの普及を図りました。また、アンケート結果を参考に、ワークシートのさらなる改善を図りました。

#### (2) 高校生向けインテリア普及教材の作成頒布

昨年度から頒布を開始した「技術家庭科・副読本」の高校生版を全国の高校に希望を募り273校、約5万8千部を無償配布しました。

## III 協会の組織運営

### 1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。具体的には次のとおり。

#### (1) 運営委員会

本委員会では、次年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映するなど事業運営を推進しました。また、協会の公益性について確認・検討するワーキンググループを設置し、各委員会の委員や学識者を交えて討議を行いました。

#### (2) 情報・広報委員会

本委員会では、新規コンテンツ制作について公開後の状況分析、統合システムプロジェクトの進捗を確認し、今後の方針等を検討しました。

#### (3) IC資格制度検討委員会

本委員会では、受験者の増加に向けた資格試験の制度改善などを検討しました。

#### (4) インテリア普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業、「住まいのコーディネーションコンテスト」の方針の立案や実施推進を行うほか、インテリア関係の調査研究助成のテーマ審査などを行いました。

#### (5) KS資格普及啓発委員会

本委員会では、「キッチン空間アイデアコンテスト」の方針の立案やキッチン関係の調査研究助成事業のテーマ審査などを行いました。

### 2. 会員活動

#### 2-1 協会への入会促進活動

協会ウェブサイトや各種パンフレット等により定期的に広報を行うとともに、本部・支部の各種事業イベントを通じて、幅広く関連企業等に入会を働きかけました。年度末時点の会員数は次のとおり。

◇年度末会員数：正会員数は160（前年度170）賛助会員は20（前年度18）



## 2-2 「会報」の定期的な発行

協会事業活動のタイムリーな情報を盛り込んで、年4回の会報を発行しました。

## 3. 広報活動

### 3-1 インターネットによる情報提供

資格者へのメールマガジン配信は、定期配信を年間24回、会員企業・団体からの申請に基づく181件の不定期配信を行い、資格者への情報提供の充実を図りました。なお、MYページサービス終了に伴い令和元年度をもって本取組は終了しました。

ウェブサイトについては、資格試験などの必要な情報の更新を行うなど適切に運営しました。

### 3-2 協会キャッチフレーズの活用

協会事業の周知を図り、認知度を高め、インテリアへの関心を喚起するために公募したキャッチフレーズ『あ、居心地、いいかも』を、広報資料や各種事業活動等で幅広く活用しました。

## 4. 交流活動

インテリア関連の業界団体、教育機関、学術団体等との連携、関連メディアとの交流を引き続き推進しました。また、内閣府、経済産業省など関係官公庁との連絡を的確に行い、当協会の諸事業の適正な運営に努めました。

## 5. その他

資格者の登録情報等のデータについて一元管理を目指す新規システム（統合システム）開発プロジェクトは、第2フェーズを終了し、第3フェーズに着手しました。適正な公益法人運営に関する当期中の理事会等における新たな判断結果について、その判断を遵守し、開発に与える影響や変更点を適切にコントロールしつつ、計画どおりに開発を進行させました。

以上